

Aは Aが①

Q

♂はビールを飲みますか。日本酒を飲みますか。

♀：ビール、もう一本、頼む？

♂：ビールはいいよ。日本酒がいい。



「は」と「が」には、いろいろな意味がある。ここでは、2つ以上のものを比べて、述べたり選んだりするときの「は」と「が」を中心に、考えよう。

Aは	Aが
<p>1 「は」は、「質問に対して、否定の形で答える」ときに使う。</p> <p>♂：辞書、持ってますか。 ♀：辞書は持っていません。</p> <p>2 ビールはいい (Qの♂)： 「は」の働きによって、「(ほかのものはともかく) ビールについては、知らない、飲まなくていい」という意味になる。</p>	<p>1 「が」は、「2つ以上の中から選んで、そのことについて述べる」ときに使う。</p> <p>♂：会議の資料は？ ♀：これが課長のもので、これが部長のもです。</p> <p>2 日本酒がいい (Qの♀)： 「が」の働きによって、「たくさんのアルコールの中から、日本酒を選んだ」という意味になる。</p>

POINT 「～はいい」の2つの意味に注意！

次のAの場合、この「いい」は「良い」という意味。一方、Bの場合は「もう結構・十分だ、必要ない」という意味なので、「北海道ではなく、沖縄を選ぶ」ということになる。

A：北海道はいいよ。涼しいし、食べ物はおいしいし。

B：北海道はいいよ。去年行ったし……。沖縄がいいよ。

Aは Aが②


Q ♀は、デパートでトイレの場所を聞いています。♂は、それに答えています。それぞれ、aとb、どっちを使えばいいですか。

♀： a. すみません、トイレがどこにありますか。

b. すみません、トイレはどこにありますか。

♂： a. 2階にトイレがあります。

b. トイレは2階にあります。

 ここでは、場所を聞く疑問詞「どこ」と、それと一緒に使う「は」と「が」、また、その答え方について考えてみよう。

Aは	Aが
<p>1 疑問詞は「は」のあとに置いて、「Aはどこですか」となる。Aが存在していることはわかっていて、その場所を聞く表現。</p>	<p>1 疑問詞は「が」の前に置いて、「どこがAですか」となる。たくさんの中からAを特定するときの表現。</p>
<p>2 Qの♀は、トイレがあることは知っていて、その場所を聞いている。したがって、bが正しい。この場合、「Aはどこにありますか」も「Aはどこですか」も、意味は同じ。</p>	<p>2 「どこがトイレですか」という文は、例えば、いくつかのドアがあって、その中からトイレを探すときに使う。この場合、「～ありますか」を使うことはできない。</p>
<p>3 Aは [場所] にあります(Qの♂のb)：まずAを話題にして、その存在場所を示す表現。「Aはどこですか」という質問への答えも、この形。</p>	<p>3 [場所] にAがあります(Qの♂のa)：[場所] にAが存在するかどうかを示す表現。「どこが(Aか)？」の質問に答える形ではない。</p>
<p>4 Qの♀は「トイレの場所」を聞いているので、♂は「(あなたが聞いているその)トイレは……」と、まずトイレを話題にしているbが正しい。</p>	<p>4 Qの♂が♀にデパートの中を説明する場面なら、「2階にトイレがあります」と言うことができる。</p>

Aます Aんです



●の質問に、○は、aとb、どちらで答えればいいでしょうか。

●：宿題、もうしましたか。

○：はい、もう
 (a. したんです。
 b. しました。)



「Aんです」は、会話の中でよく使う。いつ、どんなときに使うのか、確認しよう。

Aます

Aんです

1 質問に（「Aんです」を使わず）「Aます（ました）」で答えるのは、事実だけを客観的に伝えるとき。

2 Qでは、「宿題をしたか、していないか」という事実だけを答えればいいので、bが正しい。

3 「どこへ？」という質問に対して「～ます」で答えると、場所を示すだけの淡々とした答え方になる。

●：今度の休み、どこか旅行に行きますか。

○：ええ。

●：どこへ行きますか。

○：ハワイへ行きます。

●：いいですねー。

1 質問に「Aんです」で答えるのは、説明を加えようと思う気持ちがあるとき。

●：土曜日、お祭りに行きませんか。

○：土曜日は仕事なんです。

2 Qの「Aんです」を使うと、今の自分の状況を説明することになり、「それで何か問題があるのか？」というニュアンスを含むこともある。一方、質問では「宿題をしたか、していないか」だけを聞いている。

3 「Aんです」を使うと、●は、○が旅行に行くことがわかっていて、確認する意味になる。

●：旅行へ行くんですか。

○：ええ。

●：どこへ行くんですか。

○：ハワイへ行きます。

●：いいですねー。

4 「事情や理由を確かめたい・伝えたい・理解してもらいたい」ときに使う。

●：どうしましたか。

○：頭が痛くて、吐き気がするんです。